
2017年度 東京都ジュニアスプリント水泳大会 【未公認大会】

兼 **Nニチレイチャレンジ** 特別泳力検定会

1. 主 催 (公財)東京都水泳協会
2. 主 管 (公財)東京都水泳協会 ジュニア委員会
3. 問合せ先 小野 潤一 TEL 080-3598-4046
4. 期 日 3月3日(土) 競技開始 9:00(予定)
3月4日(日) 競技開始 9:00(予定)
5. 会 場 東京辰巳国際水泳場
6. 競技種目 年中～小学6年まで 各学年共に同じ
自由形 50m
背泳ぎ 50m
平泳ぎ 50m
バタフライ 50m
個人メドレー 100m
7. プール設定 短水路 8レーン(2面)
8. 競技方法
 - (1) 競技は(公財)日本水泳連盟競泳競技規則により、種目別、男女別に行う。
 - (2) 小学生の各種目とも予選はタイムレース、決勝は各学年上位1～8位の8名でA決勝、9～16位の8名でB決勝を行います。
また、A決勝およびB決勝レースに棄権者が出た場合、補欠者から2名を順次繰り上げて、参加させるが、3人目からの棄権者の補充は行わない。
年中および年長の各種目はタイムレース決勝で行います。
 - (3) 参加人数・種目数が多数で競技進行上、予選・決勝の実施が不可能な場合は、全種目タイムレース決勝となる場合がある。
 - (4) 未公認競技会のため、「スイムレコードどっとこむ」への掲載はない。
※ 競技会終了後の競技結果等は、(公財)東京都水泳協会のホームページに掲載する。
9. 競技順序

3月3日(土)		3月4日(日)	
1.	100m 個人メドレー 予選	5.	50m バタフライ 予選
2.	50m 自由形 予選	6.	50m 背泳ぎ 予選
3.	100m 個人メドレー 決勝	7.	50m 平泳ぎ 予選
4.	50m 自由形 決勝	8.	50m バタフライ 決勝
		9.	50m 背泳ぎ 決勝
		10.	50m 平泳ぎ 決勝
10. 表 彰 小学生の各学年第1位～3位までの選手にメダルを、第1位～8位までの選手に賞状を授与する。小学生の各学年男女各1名に優秀選手賞として盾を授与する。

11. 記録証 参加者全員に記録証を贈る。

12. 申込規定

(1) 申込資格

- ① 2017年度(公財)日本水泳連盟に競泳区分で団体登録が完了していること。
- ② 競技者登録しなくても出場可能。
- ③ 選手活動の普及を目指しているため、今年度のいずれかに当てはまる選手は出場できない。
 - ・日本選手権・ジャパンオープン・日本選手権(25m)に出場した選手。
 - ・全国J O夏季大会に出場した選手。
 - 全国J Oで参加した年齢区分に関わらず、リレーのみの選手、棄権した選手、J Oとは異なる種目での出場もできない。
 - ・3月27日より行われる全国J O春季大会に出場予定の選手。
 - 全国J Oで参加する年齢区分に関わらず、リレーのみの選手、異なる種目での出場もできない。

(注意) 毎年本大会で、多数の選手が上記の違反で申し込みをしている。
発見次第、該当選手の種目を全て削除する。なお、削除手数料として申込金の返金はしない。
また、申込後に全国J Oへの出場が決まった選手の全エントリーは削除し、申込金は大会当日に返金する。

- ④ 週一回以上定期的に水泳の練習をしており、競技会に参加するにあたり、十分な能力を有している。
- ⑤ 当日の体調による出場・欠場の判断は保護者・監督・コーチの責任で行うこと。
- ⑥ 観覧にあたっては、マナーを守り、係員の指示に従うこと。
- ⑦ 小学校低学年の選手については、ウォーミングアップに必ず引率コーチが付き添うこと。
- ⑧ 引率コーチによる控え場所の定期巡回を行うこと。
※ エントリー完了後、申込資格に同意・承認したものと判断する。

(2) 制限事項

- ① 1名2種目以内とする。
- ② 年中から小学生とする。

(3) 標準記録

	自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ	個人メドレー
年中・年長	1:10.0	1:15.0	1:25.0	1:25.0	2:40.0
小学 1・2	53.0	58.0	1:07.0	1:07.0	2:05.0
小学 3・4	47.0	52.0	57.0	57.0	1:54.0
小学 5・6	43.0	43.0	48.0	48.0	1:46.0

(4) 申込方法

Web-SWMSYSを用いて、2月1日(木)までに集計作業を含む申し込みを完了する。
なお、競技者登録を行っていない選手の申込は以下の手順とする。

- ① 通常の方法にてWeb-SWMSYSにログインする。
- ② 競技者登録に入る。
- ③ 競技者エントリー用登録(新規)に入り、必要データを正しく入力し、登録する。
- ④ 出場したい種目にチェックをし、エントリータイムを入力する。

申込金振込先 みずほ銀行 吉祥寺支店 普通 1398777
公益財団法人東京都水泳協会ジュニア委員会
ザイトウキョウトスイエイキョウカイジュニアイカイ

2月2日(金)までに振り込みを完了する。

振込者名は頭に①ス+②3ケタの団体番号+③団体略称名(8字以内厳守)とする。
*ス=ジュニアスプリントの略(春季JO予選と入金を区別する為)
(例)ス985ニホンSC 13文字を越えると、通帳に印字されず、
クラブごとの入金確認が出来ないので、厳守すること。
領収書が必要な団体は大会当日、実行委員会室まで申し出ること。

(5) 申込金
1種目につき 個人種目 800円

(6) プログラム: 901円/1部 希望する団体は、WebSWMSYS集計欄に必要部数を入力。
(注意)大会当日の販売は行わず、事前予約販売のみです。

(7) 撮影許可証・ホルダー: それぞれ 100円/1部 WebSWMSYS集計欄に必要部数を入力。
(注意)大会当日の販売は行わず、事前予約販売のみです。

(8) 速報: CD速報の販売、ならびに大会当日のランキング販売はありません。

(9) 各ブロック責任者の打ち合わせ日・場所
2月9日(金) 10:00
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-3-18 広尾オフィスビル 8階 (公財)東京都水泳協会

13. 事前エントリー確認と追加要項の掲載

申し込み種目は2月6日(火)~7日(水)に下記サイトにて確認できます。
公益財団法人東京都水泳協会>都大会情報>競泳公式>ジュニアスプリント
原則的に、申込後の訂正は受けません。
本競技会の追加要項・タイムテーブル・協力競技役員依頼状など一式を、(公財)東京都水泳協会のホームページに2月19日(月)より掲載する。参加する団体は参照すること。

14. 開場と入場

(1) 開場時刻

- ① 選手・監督・コーチ 7:20 (予定)
- ② 保護者・一般 8:30 (予定)

(2) 入場方法

入場の際には、係員の指示に従うこと。

15. 練習方法

(1) メインプールの使用は 8:40 までとする。(レーンの使用方法については当日指示する)

(2) メインプールでの練習時に、公式スタート練習を行う。

16. 泳力検定について

本競技会にて樹立した記録は予選、決勝を問わず、(公財)日本水泳連盟 泳力検定(※次ページ参照)の認定対象とする。出場種目の記録が認定基準を満たし、認定を希望する場合は「泳力検定認定デスク」にて認定手続きをすること。(認定料 1,000円)
※本競技会へ申し込みを済ませた者が泳力検定の対象となる。
※認定者には「認定証・認定バッジ」を授与する。

17. 事故対応

大会期間中の事故・怪我に関しては、応急処置のみ行う。
その後は、参加団体の責任で対応すること。
競技会申込の集計作業を行った時点で、この件を同意したものとする。

18. その他

競技会案内、または追加案内等を事前に(公財)東京都水泳協会のホームページに掲載する場合がありますので、確認すること。不明な点は、各ブロック委員長に問い合わせること。

公益財団法人日本水泳連盟 泳力検定制度

1. 泳力検定とは

泳力検定は、水泳の普及を目的とし、全国に統一された泳力基準を設定、履歴書や内申書等に記入できる公認資格として創設した制度です。検定は、「クロール」「背泳ぎ」「平泳ぎ」「バタフライ」「個人メドレー」の中から受検する級と泳法を選び、タイムを計測して泳力を判定します。内容は、年齢別・男女別に5級から、4級、3級、2級、1級の5段階に区分されており、泳法に違反しない泳ぎで定められた基準タイム以内に完泳することが条件になります。無理なく自分の泳力に応じて目標を決めて、受検することができることから幼児・学童のジュニア層から中高年まで幅広い年齢層の方々が挑戦しています。

2. 泳力検定の特徴

① 全国に統一された日本水泳連盟泳力基準による級設定。

7歳から19歳までの1級基準については、水泳選手への登竜門としての位置づけとし日本水泳連盟資格級1級に準拠しており、20歳以上の1級基準については、マスターズ水泳大会の記録を参考に設定しています。

② 基礎から応用まで、泳力を段階的に判定できる級設定。

泳力検定の級は、1～5級に分かれており、各級は、泳力に応じて目標を設定し、ステップアップすることができるようになっています。25メートル完泳の泳力があれば5級・4級に挑戦し、3級で種目毎のターン(折り返し)技術の習得を踏まえた泳力の向上、2級・1級で4泳法を続けて確実に泳げるように設定しています。

③ 生涯スポーツとしての水泳を意識した級設定。

泳力検定の各級は、年齢に応じた基準設定がされています。受検者の年齢や泳力に応じて、目標を自由に設定することができ、生涯スポーツとして幅広い年齢層の方々にも挑戦していただけます。

④ 明確な検定基準と正確な泳力判定のための体制。

泳力検定は、明確な検定基準と正確な泳力判定をするために、日本体育協会及び日本水泳連盟に資格登録した「公認水泳指導者(水泳コーチ・水泳教師・スポーツ指導員)」を検定者としています。

3. 泳力判定合否基準

別に定める泳力判定基準タイム以内で、かつ日本水泳連盟競泳競技規則に違反しない泳ぎであること。検定受検者の年齢区分は検定日当日の満年齢とし、「自由形泳法」はクロール泳法とします。

※泳力判定基準タイムは、(公財)東京都水泳協会ホームページ(<http://www.tokyo-swim.org>)をご覧ください。

4. 合格者氏名の公表

合格者氏名は「月刊水泳(一部)」「日本水泳連盟ホームページ (<http://www.swim.or.jp>)」「朝日小学生新聞(一部)」「スイミングマガジン(一部)」に掲載されます。